



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

N011

発行日 平成30年10月5日

発行者 校長 佐藤吉宏

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん

最後まで走りぬく 校内マラソン大会

晴天の下とはいきませんでした。上々のコンディションでマラソン大会を10月4日実施することができました。2学期に入り、子どもたちは体育授業や休み時間に練習を重ねてきました。長い距離を走ることは大変なことです。大変なことだから価値があります。「最後まで」を大切にしたい。開会式で子ども達に伝えた言葉です。

【感想発表から】

- 2年 坂大愛莉 練習でグラウンドを160周しました。本番では練習より24秒早くなりました。うれしかったです。
- 4年 鎌田勇士 鼻で息をすることをめあてにしていました。最初は口で息をしてしまいましたが、途中から鼻でするように変えました。横腹も痛くならず走り切ることができました。
- 6年 荒井日向 ペースを落とさず最後まで走り切ることが達成できました。自己ベストを出すことができてよかったです。



今大会、6年女子で新記録がでました。荒井菜乃花さん8分51秒(18秒短縮) 坂大 日胡さん8分53秒(16秒短縮)の二人です。出場した子どもたちは、どの子も真剣な表情がとても素晴らしかったです。

5年生稲刈り 今年も大勢の方のご支援で刈り上げましたから

毎年、森山喜久男公民館長さんのご指導・ご支援の下、5年生が米作りにチャレンジしています。今年も地域の皆さんの応援をいただき、秋晴れの9月14日に、稲刈りを行いました。ご支援いただいた方は、

- 伊藤万千代さん 滝口 清さん
- 池田 誠吾さん 高野 広行さん
- 塩川 恒男さん 高野甲子雄さん
- 高村 貞夫さん JA魚沼 沢藤さん

の皆さんです。保護者の方も応援に駆けつけてくださいました。近くの田んぼでも稲刈りが行われ

て稲刈り最盛期といった感じでした。駒形依吹さんは「稲刈りはしたことがあったけど、束ねて結ぶのは初めてでした。とても難しかったです」と感想を聞かせてくれました。



4年枝打ち体験



【4年生 高野さん番場さんと一緒に ひびきの森で】

近年、里山の保全が深刻な問題になっています。森林資源を大切にすること、身近な環境を保全していくこと、私たち世代は直接学ぶ機会がなかったように思います。指導者の番場幸一さんから、「木はすぐには育たない、自分の子どもや孫の時代になってやっと大きく育つこと」「林業は長い時間をかける仕事だということ」「先のことを夢見ての作業はとても楽しいこと」を教えてくださいました。次世代を担う子ども達にはとても大事な学習機会でした。

デイサービスの皆さんと交流

3年生

3年生は伊米ヶ崎デイサービスセンターとの交流活動を行っています。1つは赤い羽根募金の募金箱づくり、もう1つはサツマイモを栽培して一緒に食べる活動です。サツマイモの活動は公民館のご協力で行っています。募金箱づくりは今年初めて取り組んでいます。子どもたちの声がお年寄りを元気づけることにつながったとしたらうれしいです。また、子どもたちには相手意識をもって振る舞うことを学んで欲しいです。



2年生 大根でおでんパーティ？

2年生は9月に収穫の終わった夏野菜の片付けをして、大根の種を蒔きました。毎朝、様子を観察に行き、芽が出たときは大きな声で喜びを伝えてくれました。絵入りの観察記録もつけています。どんどん観察力や表現力が伸びています。子どもたちは作物を育てながら自分の眼も育てています。私たち大人も見ると、感じる心を大切にしたいものです。森山美音さんは「長細い葉っぱが出てきました。ぎざぎざの葉っぱでした。少し大きくなりました。」と観察したことを話してくれました。



葉を広げ始めた大根→

